

'86 JMRC東北ラリーチャンピオンシリーズ チャンピオン獲得、

青森 館山正嗣選手、おめでとう。



最終戦、ラリー・グロ東北に

迎春



CMSC本部
外川一雄会長

各支部のみなさん、明けまして、おめでとうございます。昨年、5月1日より実施された新車両規定のため、全日本ラリー選手権での四国の一戦が中止になったのを始め、各地で、いくつかの競技会が延期もしくは中止となりました。競技会開催に尽力つくされた幹部の方々を始め、競技会委員を努められた方々ならびに参加した選手の方々など、みなさまにおかれましても、大変な一年であったことでしょう。本当にご苦労さまでした。今年はお存じのように車両規定も、準国内以上の競技

会におきましては従来のものにほぼ近くなり、マシンの安全面・性能面の向上が図られ、安心して開催・参加できるようになったことと思います。ラリーヘダートライアルへ、さらにレースへと昨年以上にみなさんの積極的な活動を期待してやみません。さらに全国でも11支部を数え、組織的に運営しているCMSCならではの新たな視点でイベントを創造し、日本モータースポーツ全体の振興を共に図っていきたくと念願します。今年もみなさんのより一層の活躍をお祈りいたします。

CMSC 栃木

筑波サーキット
スポーツランドSUGO

耐久レース初体験レポート

チェッカー目指し、クラブ全員頑張りました。

筑波耐久300kmレース 11月3日祭、
菅生チャレンジ300km耐久レース 11月16日(日)



SUGOの馬の背を走るランサー



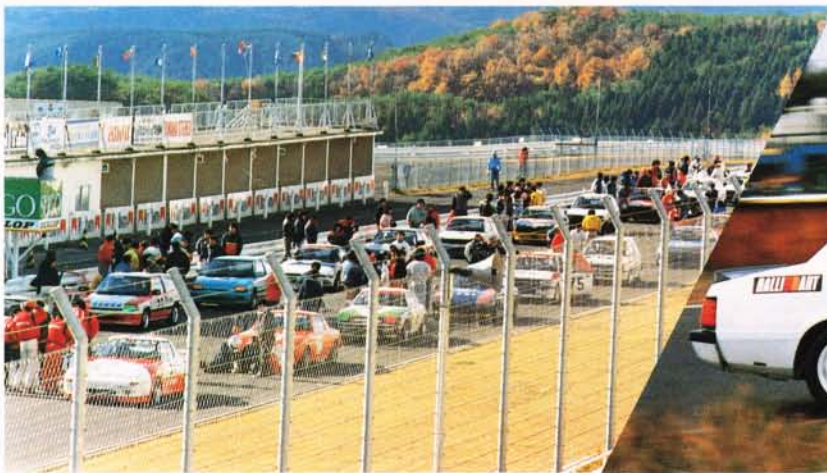
最近盛り上がってきたグループA耐久レースに刺激され、並木松雄、稲見孝雄のふたりがレース参加することになった。レースの経験はないが、サーキット走行やラリーアート・レーシングスクール参加の経験を持ち、ダートやラリーに参戦している中堅ドライバーである。8月上旬に参加が決定。稲見君のBIIランサーをグループAに改造するとなったが、ランサーのレース仕様というのは聞いたことも見たこともない。パーツはそろそろのか心配だったが、世の中広いものでサスを造ってくれるところがあり、ひと安心。エンジンは耐久ということもあり、ノーマルでいくことにした。次に耐久では重要な存在のピットクルーだが、経験者がいない。なにしろすべてが未経験ゾーンなのだ。希望者で間に合う。

取り寄せた特別規則書とJ項と首っ引きで車ができあがったのは前日の夜。それからピット作業の練習を行

ない、競技車をトラックに積みこんだら、11時を回っていた。当日は8時30分に受付、分刻みで車検、予選、決勝とつづく。不慣れな我がチームは、それだけで精一杯。緊張の内に予選終了。結果は予選落ち。当然といえば当然の結果だった。しかし予選落ちによる100kmのコンソレーションレースがあり(実はこれがあるので参加したのだ)、これには無事出場となった。いよいよ決勝。スタートは変則ル・マン式。女性ヘルパーがコースを横ぎりドライバーにタッチしてスタートとなる。1周目は7番手通過。以後若干順位が上がるもの他のチームがピットインし始めると、さっぱり判らない。無我夢中で49周のレースが終了。結果は5位。驚くと同時に、賞とは無縁だと思っていただけに嬉しさはひとしお。チーム全員で表彰式に出て、帰ってから大いに祝杯を上げたことはいまでもない。つづくスポーツランドSUGOでのレース。前回の反省を

不安と興奮が交差するCMSC栃木のピットクルー達(SUGO)もとに車両を改良、タイヤ交換や燃料補給、ドライバー交替の綿密なスケジュールを立て、ピットクルーの練習を行なった。今回は予選がなく、受付順に参加受理される。まちがいがなくレースに出るわけだ。前夜11時に出発、7時着。2回目なので余裕がある。ただ、ちらつく小雪と真冬のごとき寒さ、強い西風には閉口した。午後1時20分ごろローリングでスタート。気温のせいタイヤも予想外に持ち、交換なし。燃料補給も1回。101周でチェッカー。18位であった。2回のレースを通じて、その面白さが少しづつ判ってきた。特にクラブ員全員でチェッカーを目指す雰囲気には今までにない一体感があり、クラブ内のまとまりを一層強めてくれるものと確信した。これからも事情の許す限りレースに参加していくつもりである。

(CMSC 栃木 町田俊英)



SUGOでのスタート風景



筑波サーキットを攻めた並木/稲見組ランサー

北から西から、 謹賀新年

CMSC 帯広(水沼達也事務局長)

今年も氷上トライアルを中心に、ラリーとダートラを合計4戦主催します。大勢の人達に楽しんでもらい、メジャーなスポーツになるよう頑張りたいとクラブ員一同奮闘中です。

CMSC 札幌(清水勝一事務局長)

会長自らガスタリオンで走るのを始め、イベントに参加する人が今年は増えそうです。2月か3月にはミーティングを兼ねて、ジュニア育成のダートラの練習会を予定しています。

CMSC 青森(館山正嗣事務局長)

1月24・25日に東北チャンピオンシリーズ第1戦のウインターラリーを主催、また2月にはダートトライアルの予定も。楽しく見せるものにしたいので、よろしくお祈りします。

CMSC 岩手(佐々木会長)

今年クラブ員のレベルアップのために、主催は7月のダートラ県シリーズのみ。そのかわりクラブ員を多くの競技会にエントリーさせ、実戦をおして成長を図ります。

CMSC 山形(小川日出生会長)

月1~2回の練習会で戦力アップ。東北シリーズのラリー、県シリーズのダートラにはコルティア3台で、またミラージュカップも一戦参戦の予定。とにかく前向き的一年です。

CMSC 福島(菅野 茂会長)

2~3年前から若手が育ってきました。今年はそろそろクラブ主催のトライアルをと考えています。県シリーズ後半ぐらいのつもりで。いずれはラリーも開催したいと思っています。

CMSC 栃木(町田俊英事務局長)

耐久レースへの参加は、クラブ員の勉強になったようです。今年は6戦ぐらいに増やし、本格的に取り組みたい。また5月にはダートラ、10月にはラリーを主催します。

CMSC 群馬(荒井信介会長)

昨年はクラブ初のダートトライアルを主催。今年の計画はまだ未定ですが、前向きな活動をしていくつもりです。練習は個人個人に任せていましたが、今後は練習会を開きたい。

CMSC 岐阜(水野国幸事務局長)

地区ごと3ヶ所ぐらいに分かれて練習会を行なってきましたが、今年はひとりひとりのレベルアップを図るために、練習会を充実。実戦へも積極的に参加していくつもりです。

CMSC 香川(田中昭男会長)

今年2月と7月の四国ダートラリーシリーズ戦の開催や2回ファミリーラリー、夏のキャンプ、月2回の練習会などをとおして、楽しくモータースポーツを広めていきたいです。

CMSC 島根(杉坂啓一会長)

今年も日本海ダートトライアルチャンピオンシリーズのひとつを主催。当クラブから最も参加者の多いシリーズ戦でもあり、主催者としても、参加者としても頑張るつもりです。

CMSC青森

目標、2年連続 東北シリーズ制覇!

'86シーズンが終わった。ととても早いサイクルで1年が動いていった気がする。5.1規制にしても、ハイアベレージラリーの開催にしても……。

昨シーズンは全日本ラリー第1戦のクレストから東北チャンピオンシリーズ最終戦ラリークロス東北までの全8戦にコルディアでの参加となった。結果は最終戦で東北のチャンピオンを決め、なにより。僕にもやっと春が来たように思う。東北シリーズが始まってもう7年目。6人目のチャンピオンとなった。CMSC青森からは4年前の大西と合わせて2人目のチャンピオンが誕生したことになる。また昨年は第8戦ノースアタック300の2位、DCCSの6位など、全日本での成績にしても過去最高のできであった。しかし一つ悔やまれるのは第1戦クレストでのコースオフによるリタイアである。僕はウィンターラリーが好きだし、環境的にも良いため、入賞への気負いが強過ぎるのだろう。ナビとドライバー精神力、集中力が勝敗の重要な要素となることを、シーズンが終わって再認識している。

いずれにしても毎年近くにあっても思うようにならなかった東北シリーズのチャンピオン獲得、全日本戦2



「今年も頑張ります」館山(左)/永沢組('86ノースアタック300にて)

位という結果が得られたことは、とても嬉しい。今年は当面コルディアで東北シリーズ、そして日程、体制、資金などの都合しだいで積極的に全日本へとエントリーしていくつもりでいる。

また今まで以上に後輩の育成、指導を強化していくつもりだ。特に新三羽鳥(当クラブでは3羽ズメと呼んでいる)は練習はもとより実戦参加を積極的に行なう予定である。

これからも三羽鳥、三羽ズメにご声援を!

(CMSC青森 館山正嗣)



チャンピオン館山コルディア4WDの走り('86ノースアタック300にて)

'86CMSCチャレンジカップ シリーズ優勝、帯広 2月21日(土)・22日(日) には総会を開催!

全国CMSCの連帯・会員相互の仲間意識を高めるために設けられたCMSCチャレンジカップ。'86年の結果は、12月までの集計で、帯広のみなさんが244の高得点をマーク、見事トップとなりました。

このチャレンジカップの発表・表彰式を兼ね、CMSC総会を2月21日(土)・22日(日)に開催します。場所は東京・代々木。21日の午後より始まり、1泊の後、22日の朝まで、全国のみなさんの活動報告を行ない、親ほくを図ります。みなさんの参加をお待ちします。



帯広のみなさん、おめでとうございます。

'86CMSCチャレンジカップ最終結果

クラブ名	ポイント
CMSC帯広	244
CMSC札幌	0
CMSC青森	204
CMSC岩手	0
CMSC山形	113
CMSC福島	73
CMSC栃木	16
CMSC群馬	140
CMSC岐阜	50
CMSC島根	96
CMSC香川	116

CMSC山形

'86CMSC山形ダートトライアル (JMRC山形ダートトライアル)'86年10月19日(日)

CMSC山形主催による、山形県ダートトライアルシリーズ最終戦は、CMSC本部から木全氏、篠塚氏、田口氏の三氏に役員として参加していただき、10月19日(日)に開催しました。

山形県にも本格的なダートトライアル用として月山サーキットがオープン。ここで開催する予定でしたが、1週間前から雨雪が降りやまず、当日まで準備を進めていたんですが、やむなく会場変更。前年使ったブランドの特設コースで行ないました。

悪天候にもかかわらずエントリー台数も県内大会最高の140台と喜びもの。1台のスタッフも出ずに無事終了しました。しかし三菱勢の活躍がいまひとつ伸びず、優勝にならなかったのが残念でした。

当日の会場変更にもかかわらず大成功となり、ご尽力、ご協力いただきました本部の方々、月山観光事業共同組合のみなさん、ありがとうございました。今年もクラブ員一同頑張りますのでよろしくお願いたします。

(CMSC山形 佐藤正博)

悪天候にもかかわらず140台が参加



篠塚氏、田口氏、木全氏と全日本ナビの方々も参加、お土産にニコリ



山形のみなさん、ご苦労さまでした



ドライバーミーティング風景



篠塚建次郎氏のデモラン

CMSC 帯広

CMSC 帯広ダートトライアル

'86年11月9日(日)

道東シリーズ最終戦

**悪条件ながらも
楽しく開催!**



▲三菱賞3位の飯島コルディア4WD

◀年4回もイベントを主催した帯広のみなさんごろうさま

はめずらしくギャラリー大喝采のトライアルとなりました。戦績の方はC・Dクラスの井馬隆光選手駆るMONKランサーがデフ・トラブルを発生しながらも優勝タイムにコマ2秒と迫り、前回につづき3位、三菱賞1位を獲得しました。BIIクラスでは1年半ぶりにランサーに乗ったという青沼達也選手が4位に入賞、三菱賞2位に入りました。

また三菱賞3位には前回BIIクラス2位の飯島和司選手のコルディアが入りました。(CMSC帯広 青沼達也)



C・Dクラス3位の井馬ランサー



青沼選手、久タランサーを駆りBII-4位

CMSC 香川

第1回ヴィラ塩江クイズラリー

'86年11月4日(日)

**クラブ初の
クイズラリー、大成功**



スタート風景



子供から大人まで参加したドラマ



▲楽しさあふれる表彰式



日米交友のひと幕も▶

11月3・4日開催予定だった、86CMSC ダイヤスターラリーが中止となり、急きょ開催となった、第1回ヴィラ塩江クイズラリー。一種のスカベンジャーラリーで、クイズなどを交えた一般の方が楽しめるもの。大勢の方々にラリーの面白さを理解してもらうために行ないました。

ヴィラ塩江さんの主催、当クラブの協力でスタート。予定の60台を上回る82台が参加、家族連れあり、友人グループあり、外人の方々も来場。賑やかな始まりとなりました。

午前中はラリーでコースは約56kmの2ステージ。コマ図を使って走り、合計150問のクイズを聞いてもらいま

した。結果は国分寺町の梶 正司さんが優勝となり、豪華な賞品が贈られました。

午後は雨のため、ヴィラ塩江さんの一室を借り、ウィーンズ・サファリの映画会や豚汁早食い大会を行ない、参加者とともに楽しい一日を過ごしました。今年も何回かこのような大会を催し、ラリーの面白さを広めて行きたいと考えています。(CMSC香川 田中昭男)

レベルアップを目指すドライバーのみなさんへ、 木全巖氏著「ラリー・ドライビングテクニック」発売!

三菱自動車工業株勤務、CMSC本部会員、木全氏の著書「ラリー・ドライビングテクニック」(発行:山海堂、定価1,700円)が発売されました。

国内外を問わず、ラリー界に広く活躍されてきた木全氏の知識やテクニックを満載。練習方法から実践のテクニックにまで、木全氏の体験を踏まえ、詳しく判りやすく書かれています。新人はもちろんレベルアップを望むみなさんに、ぜひ読んでもらいたい一冊です。

お求めはお近くの書店か山海堂(〒113 東京都文京区本郷5-5-18 ☎03-816-1617)まで

